

編集後記

ここ数か月の COVID-19 世界的流行により、多くの脳神経内科医もそれぞれの立場で必要な対応を強いられていることと存じます。日常診療においても標準感染予防策を講じ、接触感染や飛沫感染防止で距離を取ったり、手指消毒、マスクはもちろんフェースシールドを用いたり、それぞれの地域の流行程度や患者数にも応じて異なる対応を行っているようです。実際に COVID-19 感染の患者さんに対応したり、感染専門病棟の担当を担う脳神経内科医も多くいると聞きます。また COVID-19 の流行から学び、医療システムの再考につなげる機会にすべきであるとの考えもあります。実際にこれまで 1, 2 か月ごとの通院診療が通常である外来診療も電話再診（特例）や遠隔診療への移行がすでに一般化しています。一方学術雑誌の世界にも影響が及んでいます。COVID-19 と対峙するために、世界中の研究者が治療法やワクチンの開発を急いでいます。これらの論文を掲載する立場の雑誌は、より速い掲載を目指して異例の速さで査読を行い医療界に貢献しようとしたが、一

方で Lancet や NEJM などの一流科学雑誌に掲載された論文が速攻で撤回される事態も起きてしまいました。査読が何らかの指示で急がされた結果、十分な査読ができずに掲載につながったのかもしれませんが、一般に論文査読はボランティアで行われるものですからその査読内容に責任を問うということにならないように、必要な時は必要な時間をかけて、査読者に余計な負荷を与えずに行っていただくという必要性も感じました。臨床神経学も COVID-19 対応でさらに多忙な日常を送っている先生方に査読のご協力をいただき成り立っています。あくまでも質の高い新しい学術情報を確実に伝える媒体としての役割という原点を見失わずに、その運営を進めていく必要があると改めて思います。しばらくの間は COVID-19 の混乱の中ですが、皆様と共に質の高い学術雑誌に作り上げていきたいと思しますのでよろしくお願いいたします。

2020年7月19日
(坪井 義夫)

〈編集委員〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利
鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」 第60巻 第8号 2020年8月1日発行
編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 戸田 達史
印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>